

## 中国の銀行業と貨幣改革の発展情況

武藤守一

### 一 序

中国科学院の招待を受けて中国を訪問したのは昨年十月であった。四十数日の滞在中に多くの大学や研究所を訪問し、また多くの工場その他を見学した。ところで、日本を出発する前に、私は通貨金融の問題を専攻している者であるから、抗日戦争中の解放地区において、また戦後の内戦時期から、中華人民共和国の成立による新しい通貨制度および銀行制度の変化発展についての資料を蒐集したいし、またそれに関する専門の学者や実務家と懇談する機会を与えられたいと、中国科学院に連絡しお願いしておいた。果してそのよう

な便宜が図られていて感激した。

十月十一日深夜に北京到着。翌十二日には中国科学院国際連絡局安受訓処長および中国科学院経済研究所劉国全秘書が来られ、私の希望を容れて日程の打合せが行われた。翌十三日は日曜日なので万里の長城および明十三陵に遊んだ。そこには百台を越える乗用車とバスが並び、数千人の人々が長城を登って行く。その中にはロシア人・ドイツ人その他のヨーロッパ人あり、インド人・アンナン人その他のアジア人あり、国際色極めて豊かであった。写真機を肩にした家族ずれの中国人が相当多いの気がついた。五五年に北京を訪問した時から二年経っただけなのに、建設の進んだこと、

生活の豊かになったことを思うのであった。

翌十四日に私は中国人民銀行金融研究所から次のような手紙を添えた書類を受取った。「武蔵守一先生。

今回あなたが友好のためにわが国に訪問されたことを、われわれは心から歓迎いたします。あなたが王拓先生（中国科学院国際連絡局長）に出された手紙の中で、今回あなたは、わが国の通貨金融に関するいろいろな資料を蒐集し、さらにわが国の金融機関の責任者と面談したいと希望しています。われわれも非常に関心をもつものであり、以上のようなあなたの希望を満足させるよう出来るだけ努力しようと思えます。いま、われわれはまず『中国の銀行業と貨幣改革の発展情況』という資料一部をお届けしますので、お受取り下さい。なおあなたがわれわれに面談する前に、あなたが明確にしたいと希望されるいろいろな問題を簡単な要綱に列挙し、科学院を通じて、われわれにお届け下さるよう希望します。そうすれば、われわれは事前に準備す

ることができ、一層充分にあなたが明確にしようと思える事情を提供することができるとありましょう。御機嫌よう」私は早速届けられた資料を統み、二十数項目の質問を個条書にして送った。その後人民大学や北京大学を訪問して二三日を過ぎた十八日に金融研究所副所長鄭伯彬氏と研究員徐復氏が来られた。両氏とも著書および論文では知っている人であった。午前午後にわたり長時間話合ったが話は尽きなかった。瑞金ソヴェト政府時代から現在まで二十数年間のいろいろな話は尽きる筈もなかった。後日のことであるが、重慶を訪問した時、その博物館には瑞金ソヴェト政府およびその他のソヴェト地区で発行した銀貨・銅貨・紙幣、さらに抗日戦争期に各解放区で発行した数百種類の通貨を見る機会に恵まれた。倉庫に蔵ってあったのを特に陳列されたのであるが、殆んど全部蒐集されているのに驚いた。

ここでは鄭副所長らと話合った一部分、特に最近に

おける中国の銀行業と五五年に行われた通貨改革についての話を「資料」に基いて要約するに止めたい。極めて一般的なものになったが、底に流れている考え方が示されているように思うからである。

## 二 解放前後の中国銀行業

中国における金融体系は主として国家銀行——中国人民銀行、国家的專業銀行、公私合営銀行——および広汎な農村において農民自身が組織した信用合作社から成り立っている。このほかに公私合営の小額質抵当貸付所がある。

(一) 中国人民銀行 遠く一九二八年、江西省の革命根拠地に人民自身の銀行が創設されたことがあった。その後、抗日戦争と第二次国内革命戦争の時期に、各解放区には相前後して十数カ所の地方銀行が創設された。これらの銀行は、いずれも単独で貨幣を発行し、その地区内で流通使用された。当時これらの銀行の主

要任務は、貨幣の発行を掌握し、解放区の貨幣市場を鞏固に發展させ、革命戦争を支持し、敵貨幣に対する闘争を行い、人民の財産を保護し、生産（主として農業生産）を支持發展させることであった。これらの銀行は、いずれも人民の革命事業の發展に対して積極的な機能を發揮した。

革命戦争が勝利するにつれて、各解放区は次第に連絡統合し始めた。一九四八年春、晋察冀辺区銀行と冀南銀行がまず合併し、華北銀行が成立した。同年十二月一日華北銀行、西北農民銀行および山東の北海銀行を基礎にして中国人民銀行が正式に成立し、同時に人民幣の発行を開始した。続いて、それに前後して陝甘寧辺区銀行、華中銀行および中州農民銀行を合併した。この時にはまた東北銀行、長城銀行、関東銀行（この三銀行はまず合併して東北銀行となった）および内蒙古銀行などいくつかの解放区銀行は合併しなかった。人民解放戦争が全国的に勝利するに至ったので、われ

われは次々に国民党政府官僚資本の銀行を接収管理し、

こと、

中国人民銀行の機構は急速に拡大した。一九五〇年、全国的な財政経済の統一と全国的な金融物価の安定につれて、遂に東北銀行および内蒙古銀行を合併し、同時に銀行建設事業を一步前進させ、人民銀行は急速に全国の各県・区にあまねく支店および営業所を創設した。これが現在の中国人民銀行である。

現在、中国人民銀行は全国に二万三千余の機構をもち、そのうち区・鎮に設けられた営業所が一万三千八百余あり、直接に広汎な人民大衆と密接な連繫を保っている。各県（市）に設けられた支店は二千余、各省（市）と自治区にはいずれも分行が設けられている。全行の工作人員は合計三十余万人による。

中国人民銀行の主要任務は次の如きものである。

(1) 国家の政策に基づき、全国の金融事業を指導すること、  
(2) 国家の貨幣発行を管理し、貨幣の流通を調節する

(3) 国家機関・企業および個人の一時的遊休資金を組織化し、国家の政策と計画にしたがい、工業・農業および商業に貸付けること、

(4) 外国為替収支および国際決済の処理、

(5) 金融行政管理の掌握、

(6) 国庫の代理、

以上の工作を通じて、社会主義建設と社会主義改造の実現に服務することである。

(一) 中国銀行　中国銀行は公私合営の株式銀行で、それは中国人民銀行から指定した外国為替業務を經營する專業銀行である。それは国内各都市に三十余の分支店を設けている。

その主要任務は、中国人民銀行と理事会の指導の下に、中国人民銀行の委託を受けて、外国為替業務を取扱う。その国外分支店は外国為替業務を営むほか、その地の政府法令の許可する一般銀行業務を經營する。

(三) 公私合管銀行 公私合管銀行は六十の私的銀行

および錢莊が合併し組織したもので、現在百四行ある。主要業務は、人民銀行を代理して貯蓄預金を取扱うことである。一部の銀行は外国為替指定銀行になり、外国為替業務を営んでいる。これらの銀行の国外にある組織は、その地の政府法令の許可する一般銀行業務をも営んでいる。

全国が解放される以前、中国の銀行業は戦時中の通貨膨脹という畸形的状況の中で発展し、投機性が大きくて、生産とは殆んど連繋がなく、その主要業務は金融投機と商業投機を行うことであった。全国解放の初期、国家はこれらの銀行・錢莊に対し、その合法的経営の許可制を採用し、嚴重に管理し、その投機を防止し、また同時にそれらを援助して困難を解決した。まず、それらを都市農村間の物資交流と生産発展の方針に服務させ、同時にそれらに対しては社会主義改造の工作を始めた。一九五二年、すべての銀行は公私合管

を実行し、統一的な公私合管銀行が成立した。現在、それらの理事会以下は公私合管銀行総管理処を設け、全銀行の日常工作を指導する責任を負い、各大都市には分支店機構を設けている。それは政策面において完全に国家の指導を受けている。

(四) 中国人民建設銀行 これは中国における專業銀行の一つである。一九五四年に設立され、財政部に指導される。その任務は国家の批准した計画と予算に基づき、基本建設予算の支出および監督、国営請負工事企業に対しては計画にしたがって短期貸付を行い、基本建設支出の決算を行い、基本建設単位および請負工事組織の資金運用・財務管理・原価計算および投資計画などに対して検査と監督を行うことにある。

(五) 交通銀行 これも公私合管の株式銀行であり、財政部から国家の公私合管企業に対する投資を委託管理し、ならびにこれらの企業に対して財務監督を行う。交通銀行もまた外国為替指定銀行の一つである。その

国外にある機構は外国為替業務およびその地の政府法令の許可する一般銀行業務に従事する。

(内)信用合作社 広汎な農村には約十万三千余の信用合作社があり、その社員は一億の農家に近く、出資金は二億七千万円である。信用合作社と国家銀行の基礎的機構が一つの広大な農村信用網を形成している。

農村高利貸を打撃して消滅させ、農村資金を聚集し、農業生産合作社と農民の生産発展を援助し、農民の生産と生活との困難を解決することに極めて大きな力を与えている。信用合作社の業務は国家の指導を受ける。国家銀行は資金上および業務技術上について、信用合作社に特別な支持と援助を与える。

(外)小額質低当貸付所 これは過去の中国では通常質屋といわれたものである。旧中国においては早くからあった一種の高利貸である。解放後、人民の生活水準が漸次高まったため、質屋業務は次第に衰退した。一九五六年、社会主義改造の高まりの中で、質屋もま

た公私合営となった。それは合理的に利率を低め、名も改めて小額質低当貸付所となり、主として市民の経済的困難を解決している。現在全国に百八十余ある。このほか、なお三つの私的銀行と三つの外国銀行がある。

### 三 五五年の貨幣改革

(一)一九五五年三月新貨幣発行時の経済情况 中国は一九五五年三月に新貨幣を発行したが、これは生産が日に日に発展し、貿易も日に日に拡大し、財政収支と国際収支は平衡して余剰があり、社会主義建設と社会主義改造は急速に発展しつつあり、物価は一九五〇年三月月以来長期にわたって全く安定するという基礎の上に、さらに社会主義革命の高まりと社会主義改造が決定的に勝利するという直前に行われたのである。

中国の一九五四年度農工業生産総額は一九四九年に比して一・二倍に増加し、現代工業総生産額は三・三

倍に、食糧生産は五〇%増、棉花生産は一・六倍に増加した。生産の迅速な増大は商品流通が拡大する基礎である。一九五四年の小売取引額は一九五〇年に比して一・三倍に増加したが、これは中国の経済制度の下における、生産の巨大な発展と人民購売力の迅速な上昇を充分に明示している。

生産の発展、貿易の拡大、人民生活の改善という基礎の上に立てられた中国の財政情況は良好であり、鞏固である。一九五四年度の財政収入合計は二七〇億元で、一九五〇年の四・二倍に当り、財政支出合計は二四九億元で、一九五〇年の三・六倍に当る。

中国の国際収支増大もまた迅速であり、一九五四年度の国際収支総額は一九五〇年の二・二倍以上であった。国民党反動集団の支配した旧中国では毎年逆差であったが、それとは異なり、たとえば毎年の収支を比較すれば、一九五〇―五二年の支出は収入の九〇%であり、一九五三年および五四年の支出は収入の九八%

であった。国際収支は平衡であるというより余剰であった。同時に、国家の金貯蔵もまた大量的に増加した。一九五四年度全国農工業総生産額のうち、国营工業が五九%を占め、合作社営工業が四%、私营工業が二五%を占めている。国营、合作社営、公私合営が合計七五%を占め、工業生産では社会主義経済成分がすでに優勢を占めている。

一九五四年の社会主義商業は、卸売取引ではすでに八九%の比重を占め、小売取引総額では五八%の比重であった。商業における社会主義経済の優勢も非常に増大した。一九五四年末になると、全国農業生産合作社は五〇万近くまで発展し、参加農家は全国農民総数の一一%を占め、今や農業合作化が大発展する直前であった。

社会主義経済は工業ならびに商業において優勢となったのであるが、しかし資本主義商工業もまだ相当の比重(工業生産二五%、小売取引四三%)を占

めていたし、社会主義農業が相当発展したものの、個人経済がまだ大量に存在していたし、また一方では、全般的には農業生産合作社が発展する条件もようやく成熟していた。このような状況は、単に中国における社会主義建設と社会主義改造という重大な成果を反映しているだけでなく、また同時に、今後社会主義経済がさらに一層発展する基礎を定めるものである。このような状況は、中国の貨幣制度改革を一層完全なものにすることを要求し、さらに今後の発展の必要に適合し、中国の経済に新しい様相を加えることを要求したのである。

(二)新貨幣の発行——貨幣改革の内容と特徴点 中華人民共和国国務院は一九五五年二月二〇日、新人民幣の発行と旧人民幣の回収に関する命令を發布した。すなわち

「国家の計画経済建設の必要と広汎な人民の希望に  
応ずるため、財政収支の平衡と金融物価の安定という

基礎の上に、一層健全鞏固な中国貨幣制度を実施し、  
取引と計算を便利にするため、次のように決定する。

(1)中国人民銀行の責任において一九五五年三月一日から新人民幣（以下新幣と略称する）を発行し、現行の人民幣（以下旧幣と略称する）を回収する。新幣の券面額は、主幣は一元・二元・三元・五元・十元の五種とし、補幣は一分・二分・五分・一角・二角・五角の六種とする。どの券もその券面に漢・蔵・蒙・ウイグルの四種の文字を印刷する。

(2)新旧の交換比率は、新幣一元が旧幣一万元に等しくする。新幣発行の日から、あらゆる機関・団体・企業および個人による一切の貨幣の受授・帳簿記載および国際間の清算などは、いずれも新幣を計算単位とする。したがって新幣発行前の一切の債権債務は、国家公債を含めて、その日から、法定比率にしたがい新幣に換算して計算し清算する。

(3)したがって、旧幣はすべて中国人民銀行により法



定比率にしたがって回収する。旧幣を所有する者はすべて、新幣発行の日から、中国人民銀行あるいは代理兌換機関に行き、法定比率により新幣に兌換しなければならぬ。兌換期間中は、旧幣は法定比率により新幣を換算し、新幣とともに流通することができる……」

中国が新幣を発行した時の状況および内容から見ても、今回の貨幣改革がもつ若干の特徴点を次の如く指摘することができる。

(1)今日の貨幣改革は、従来の人民幣制度の基礎の上に、僅かばかりの改善をしたのみであって、全く新しい貨幣制度として人民幣制度に代えたのではない。

今回の貨幣改革は一九五〇年三月以来通貨膨脹が停止し、貨幣流通と物価の長期的安定という堅実な基礎の上に行われた。旧人民幣の一単位毎の表示する価値量は極めて小さかったけれども、五年間という長期にわたって、その表示する価値量が安定したことを充分に証明した。だから、今回の貨幣改革は通常のそのの

ように、通貨膨脹を克服するために行われたのではなく、新しい貨幣制度を創設するためでもなかった。今回の貨幣改革の内容は、主として中国の価格標準を変更改善するものであって、人民幣の単位である元の価値量を高め、新しい価格標準によって、中国の経済生活の現実の状況に適應させたのである。これは単に従来の独立した・統一的な・安定した貨幣制度の基礎の上に、改善を加え一層健全鞏固にしたのである。

(2)一九五〇年三月以来、中国の物価は安定し、貨幣流通量は商品流通の必要に適應していた。だから、今日の貨幣改革は単に貨幣券面額を改善し、価格標準を変更しただけであるから（旧幣一万元を新幣一元に改める）、實際上として市場の貨幣流通量は収縮しない。貨幣改革を行うが、しかも市場の貨幣流通量は大量的に減少しない。このことは資本主義国家が労働人民を収奪するために行う貨幣改革と本質的に異っている。しかし、それだけではなく、中国の貨幣改革と社

会主義兄弟国家が第二次世界大戦後に通貨改革に当面した情況とも異っており、採用した方法もまた異っている。

中国が貨幣改革を實行した時の市場貨幣流通量は、基本的に商品流通の必要に適合してただけでなく、それは五年間にわたる市場安定の實踐によって証明されている。だから、貨幣改革の過程において、商品流通に適應しない大量の増加または減少はあり得ず、もしそうでなければ必ずや市場の変動を引起し、全国民經濟に良からぬ影響を起させたにちがいない。

(3) 一律に一对一万の比価で兌換を行い、階級別や階層別により、また兌換數量により、異った兌換比率を用いるという差別的兌換方法を採らなかつた。

中国が新幣を發行した時に採用した方針は次の如くである。すなわち、貨幣の所持人に対しては、階層を區別せず、現金か預金を區別せず、また所有貨幣の大小を區別せず、一律に一对一万の比率により旧幣を

新幣に兌換した。当時、中国の情況は、八年の抗日戰爭を経て、長期にわたって通貨は膨脹していたが、一九五〇年三月以来人民幣の価値はようやく安定に向つた。当時の物価は抗日戰爭前に比して二万倍余に上昇していた。しかし、当時は配給價格なく、ただ一種の價格があつたのみであり、紙幣の發行は多かつたけれども、物価の上昇によって、貨幣の流通量は商品流通の需要に適應し、市場には余剰の貨幣がなかつた。中国は、貨幣が完全に安定して五年後に新幣を發行したのであるから、このような情況の下では、どのような方針が採られるべきであろうか。

一つの回答は、貨幣を割引兌換する方法であるが、突然市場における貨幣流通量が減少し、その結果は通貨収縮であり、一連の問題が続いて發生したに相違ない。たとえば、一方では物価が下落して、商品は売れず、他方では實際の労賃が増加し、商品の原価は高くなり、このようにして商工業は困難になろうし、甚だ

しきに至っては倒産の風潮さえ起り、国家の多くの政策（たとえば貨銀政策・物価政策）はいずれも混乱し、財政予算もまた混乱したに違いない。当時、商工業が不景気になったり、あるいは私有商工業が破壊したりすることは、中国にとって極めて不利であったことはいうまでもない。貨幣割引兌換を実行する方法は、實際上物質的富の再分配を行うことであり、中国でこのようなことを行う時、損をする者は結局誰であろうか。当時、資本家の財産は貨幣形態で保存されていず、したがって紙幣は主として資本家の手にはなく、労働者・農民・市民および小売商人の手にあった。だから、もし紙幣の割引兌換をすれば、損をするものは労働者と農民であった。中国は貨幣の割引兌換の方法を採ることはできなかった。

他の答案は、中国の実際の情況から出発して、紙幣の券額面を縮小し、その他は一切変えないといふのである。これは中国が一九五五年に採用した四つの零を

取り去る方法である。この方法は中国の実際の情況から出発して得たところの結論であった。

(4) 今回の紙幣を発行した時、どうして新人民幣の金含有量を明文で公布しなかったのか。金含有量を規定することは望ましいことであり、人民幣を法定の価格標準とすることができ、国際決済を行うにも便利である。現在の人民幣が法定の金含有量をもたないために、他の国家と支払協定を締結する時には、外国貨幣を用いて計算の基準とすることができただけである。一般的にいえば、それは明文で人民幣の法定金含有量を公布したものである。ある人々は、新幣を発行した時に明文で新幣の金含有量を明示すべきであり、もしそうしなければ、人々は中国の貨幣の安定性を疑うかも知れないといった。しかしながら、實際上、国内市場についていえば、貨幣兌換がすでに終ってしまった。現在、金含有量を規定するか否かは、少しも人民幣の国内における威信に影響を与えるものではない。現在、

如何なる国家といえども（アメリカを含めて）、中国の貨幣が安定していることを否定できない。国際市場からいえば、中国は明文で人民幣の金含有量を公布していないけれども、しかし外国為替相場から中国貨幣の金含有量を算出することができる。

貨幣の金含有量は適当に定めることが望ましく、不適当に定めると動かされ、万一変更が必要となれば、国際上に及ぼす影響は極めて大きい。なお、新幣を発行する時に、金含有量を規定することは實際上困難であり、特に困難だったのは、人民幣の金含有量を規定した後、人民幣が資本主義国家の貨幣比価と同様に、ソヴェト同盟および民主主義国家の貨幣比価との間に適当な平衡が得られるようにしなければならなかったことである。この点は、当時における各国の貨幣比価の状況においては極めて困難なことであった。中国はいつになったら人民幣の金含有量を公布するか。それは実際の状況に依りて定められねばならない。明文で

金含有量を規定することが、利益多く弊害が少ない時が来たならば、中国は人民幣の金含有量を公布するであろう。

(三)貨幣改革の影響　今回行われた中国の貨幣改革は、各階級・各民族の全面的歓迎を受け、新幣の流通は旧幣の流通に比して、次のような優れた点があると一般にいわれている。

(1)計算に便利で、検算は簡単である。以前に流通した旧人民幣は、一九四八年十二月一日から発行を開始されたもので、当時は解放戦争がまだ中国の広大な地区で行われつつあり、国民経済は破壊されて非常に損害を受け、市場の金融物価は極めて不安定であり、特に解放前の反動国民党政府による通貨膨脹の影響を受け、当時の貨幣は券面額は非常に大きいが一単位当りの代表する価値量は極めて小さかった。計算の時はいずれも万を単位としなければならず、経済活動の面で頗る不便が多く、広汎な人民、特に農民大衆の日

常生活に不便であった。

中国の無数の企業経済における会計担当者は、毎日の数限りない貨幣の検算と簿記帳処理に当り、常に旧幣の単位価値の低いという原因によって、人力および財力の消耗を増したのであるが、このような消耗は避けるべき浪費であり、また避けることの出来る浪費であった。新幣は新しい価格標準を規定し、旧幣の券面額頗る大きく、単位価値極めて低いという欠点を改善し、大いに計算を便利にし、多くの検算時間を節省し、簿記事務を簡單化し、社会的に多くの人力と財力を節約することになった。

(2) 識別し易くし、流通を便利にした。旧幣の種類は甚だ多く、大小さまざまで、色もハッキリせず、文字を知らない多くの農民の使用には不便であった。新しい人民幣は、各種金額の券別、券面の図案、色彩と大小などが異っており、さらに各種の券は一つの版だけであるから、文字を知らない人にも、図案を見ただけ

で貨幣の価値を知ることが出来る。現在のところ、中国の多くの農民は文字を知らないが、農民生活が日に日に富裕となり、農村の商品経済が日に日に発展しつつあり、特に農業の合作化以後、農村に貨幣をもつ人が多くなり、農民の貨幣取支が増加するという事情の下においては、以上のような貨幣券面の改善は、大衆の利益に符合するものである。新幣の印刷は紙がいいだけでなく、質量ともによく、保存と使用に便利で、さらに票券種類が簡單で、模様が一致している。人民の使用に便利であるだけでなく、国家貨幣の偽造防止にも大きな関係がある。

(3) 国内の各兄弟民族の使用に便利であり、内地と兄弟民族地区との経済交流に有利である。建国以来数年の間に、内地と兄弟民族地区との物資交流は大いに増加したが、旧幣の券別種類が繁多、票版が複雑、質量規定が不等であることにより、また同時に新疆および内蒙古自治区では、以前に一度蒙古文字とウイグル文

字の人民幣が流通した以外は、大部分の人民幣は兄弟民族の文字がなかったため、各兄弟民族が使用する時には頗る不便であった。また多くの兄弟民族地区では、解放初期に銀元が流通したが、数年を経過し経済交流が発展した結果、すでに多くの兄弟民族地区の人民は、喜んで人民幣を使用している。今後さらに兄弟民族地区の経済が発展し、内地との経済関係がさらに緊密になるであろうことを予測すれば、漢族・蒙族・ウイグル族および西蔵族の四種の文字を印刷した新しい人民幣を発行したことによって、全国各民族の人民の使用を一層便利にすることは必然であり、さらに全国各兄弟民族の経済交流を一步発展させ、各兄弟民族地区の経済生活を繁榮させ、各民族の大団結を鞏固にすることに有利である。

#### 四 新貨幣制度の特徴点

(一) 中国の貨幣——人民幣は社会主義計画経済の基礎

中国の銀行業と貨幣改革の發展情況（武藤）

の上に、計画的管理の下に流通するものである。

人民幣の発行は、国家によって統一的に管理される。発行の具体的な主管機關は中国人民銀行である。一切の発行事務の決定権は中央に集中される。国家による統一組織は生産と商品流通から、生産と商品流通に奉仕する貨幣流通にまで及んでいる。一計画年度が開始する毎に、国家により生産計画・商品流通計画・国家予算および信用貸付計画・貨幣発行計画が制定され、商品流通の實際の必要に基き、計画的に貨幣を発行あるいは回収する。このようにして貨幣流通量を常に商品流通の實際の必要に適應させることができるのである。紙幣を唯一の合法的に流通する貨幣とする条件下では、計画的な流通制度は特に重要であり、ただ社会主義的計画経済の基礎の上に、統一的に、商品生産・商品流通と貨幣流通を組織する条件の下においてのみ、紙幣の各一單位の代表する価値量の安定を保証することができる。

中国の計画的貨幣流通制度が形成された歴史的特徴は次の如くである。

(1) 一九五〇年三月以来、通貨の膨脹は停止し、すでに貨幣発行によって財政赤字を補填するという現象は除かれ、かくして貨幣の発行は完全に生産流通の必要に基き、生産と商品流通が発展すれば、貨幣流通量も

それに応じて増加するようになった。一年のうち繁忙季には貨幣流通量は増加し、閑散季には貨幣流通量は減少した。健全な財政制度は、生産と商品流通のために貨幣を発行あるいは回収する原則の確立、すなわち計画的な貨幣流通の管理が実行できるか否かの先決条件である。

(2) あれ以来七年の間に、社会主義の国营経済はすでに中国の強大な指導勢力となり、社会主義の基本的経済法則はすでに中国の国民経済において指導的作用をなしつつあり、私営商工業を国家資本主義の道に導き、計画収買と計画供給の方法を実行することにより、現

在では国营・合営・合作社営経済がすでに全国主要商品の圧倒的部分を掌握しており、さらに国家によって統一的計画的に決定される物価水準、国家の価格政策に応じて商品を市場に投入すること、これこそが計画的な貨幣流通制度の物質的基礎であり、これこそが決定的意義をもつ要素である。

(3) 中国人民銀行は、すでに全国的に統一された巨大な国家銀行となった。国家銀行のうちで、長期信用と短期信用とが次第に区分され、中国人民銀行は漸次短期信用の中心となった。国营企業と合作社経済および一部の合営企業では、すでに現金管理と振替清算とが実行され、さらに社会主義企業間の商業信用は次第に消滅しつつある。これらの変化の主要な特徴は、信用活動の集中と国家銀行への統一である。このような銀行・信用制度の改革は、計画的な貨幣流通管理の組織的基礎である。

(4) 計画的な貨幣流通は、分散的に進められるもので

はなく、また単独に国家銀行によって進められるものでもなく、それは国家の統制の下に、国家銀行によって統一的に行われるのである。計画的な貨幣流通の実現は、国民経済計画を実現するという総任務の一部分であり、さらに生産と商品流通計画を実現する重要な保証の一つである。貨幣流通計画化の実現は、国家的な、特に国营・合作経済の任務の一つであり、計画的な貨幣流通の組織は、国家の日常行う職能の一つであり、国家機構の経済作用の重要面である。国家は財政支出、国营・合作商業の収買、銀行の貸出支出などによって貨幣の放出を統制し、財政収入、国营・合作商業の販売、銀行の貸出回収などによって貨幣の回収を統制し、さらに時としては各種の措置を講じて人民の貨幣収支を平衡させ、貨幣流通と市場の安定を保証する。これらの工作は、すべての中央の統制計画により、各級の党および政府の指導の下に、各部門が協同して貫徹するのである。

(二)中国の貨幣——人民幣は社会主義的な・独立自主的な・統一的な・安定した貨幣である。

人民幣の流通制度は激烈な闘争過程において創設され成長して来たものである。それは帝国主義の侵略と蔣介石売国集団の罪悪政治を体現した偽幣・外幣・金銀流通という現象に対する闘争を進める中で成長して来たものである。それは労働者階級の指導する新中国の社会主義経済が旧中国の半封建・半植民地経済を克服し勝利する闘争の中で成長して来たものである。それは国营経済を指導力とする社会主義経済が、資本主義と小生産者の投機性・盲目性・自然発生性を克服し勝利する闘争の中で成長して来たものである。人民幣は社会主義経済の範疇に属する貨幣である。

人民幣は労働者階級が指導する新中国が、社会主義建設と社会主義改造を進める手段であり、国家が意識的に計画を運用することができる計算手段である。人民幣制度——中国の新しい貨幣制度の創設は、中国の



社会主義経済にとって重要な勝利である。中国はすでに資本主義商品経済の範疇に属する貨幣を、人民民主專政の新しい社会主義中国を建設する有効な手段に変更することに成功した。

人民幣は独立自主の貨幣であり、それは自己独立の貨幣体制であり、如何なる国家の貨幣にも依存しない。それは蒋介石売国集団の支配期に、特に四大家族の発行する貨幣が、英ポンド・米ドルに依存するという現象を肅正し、米ドル・香港ドルが中国市場に流通し、外国銀行が中国内で紙幣発行の特権をもつなどという半植民地的現象を肅正した。

資本主義世界の各国貨幣が、實際上殆んど価値を低下し、物価が上昇しつつある時、人民幣は世界で最も安定した通貨の一つである。一九五〇年三月以来、中国の物価は絶えず安定して微動もしない。これは中国の貨幣が資本主義諸国の貨幣に対してもっている優越性を充分に示すものである。